

集 平成26年度 部長に聞く 今年度の方針



議会事務局 長
池場 康晴

信頼される事務局をめざして

議会事務局は、議会に関することのほか、監査委員事務局、公平委員会の事務局に関する業務を行っています。

議会関係の業務としては、本会議の運営のための事務や本会議の予備的審査、調査機関としての各委員会に関する業務を行っています。

郡上市議会では、開かれた議会をめざし、市民のみなさんに一層ご理解をいただくために議会改革に取り組んでいます。特別委員会を設置し、議会基本条例策定の検討等を行っており、昨年は5月と11月に4会場で「議会報告並びに意見交換会」を試行ということで開催しました。これは、議会での審議状況をお知らせするとともに市民のみなさんからさまざまな意見をいただく、市政に反映する取り組みです。

事務局としましては、議会の積極的な取り組みに対し、しっかり補佐していきたいと思っております。

また、監査委員事務局及び公平委員会事務局としては、監査日程や委員会の日程調整や記録などの業務を行っています。

議員や委員のみなさんから信頼される事務局をめざし職責を果たしていきたいと思っております。



市長公室 長
田中 義久

合併・市制施行10年を経て
みんなで作るこれからの郡上

市長公室は、市長の秘書業務をはじめ、その直属スタッフとして広報広聴、企画行政、地域振興、公共交通、情報通信、行政改革、人事管理等の分野を担当するとともに、庁議や政策会議を通じて市政の総合調整に当たっています。

今年度は、この3月議会で議決、制定された「住民自治基本条例」の趣旨を広く周知、啓発し、市民が主人公の郡上づくり

に資することを第一のテーマとします。また、この条例に位置付けられた「地域協議会」が自治会や公民館、また地域づくり団体などの横断的な連絡調整と住民自治の拠り所として活動が始まっていくように、市民のみなさんとともに取り組みます。

人口減少対策は重点課題であり、子ども子育て支援から産業雇用や交流移住など各般にわたる施策を全庁的に連携させ、安心して元気で暮らし続けられる郡上づくりをめざして努力します。その一環として「テレワークのまち郡上」の取り組みを始めます。

今年度は合併から満10年を経て、地方交付税が段階的に縮減する初めての年です。今後の財政運営を見極め、創る視点をもった「第二次行政改革大綱」の着実な推進を図りつつ、次の「総合計画」づくりにも取り掛かります。

それぞれの立場のみなさんと行政が「協働」の精神とともに力を足し合い、郡上市を盛り上げていきたいと思っております。何とぞよろしく願います。



総務部長
服部 正光

安心・安全なまち郡上
財政健全なまちをめざして

総務部は、防災・交通安全・地方消費者行政など市民の安心・安全に関すること、自治会活動の支援、選挙事務に関すること、予算編成、財産の管理、入札・契約、市税の賦課・徴収に関すること、市民のみなさんへの窓口業務、斎場の管理運営を担当業務としています。

防災対策については、友好都市との「災害時相互応援協定」を4市区（大野市・篠山市・志摩市・東京都港区）と締結し、東西南北での応援体制を整備されました。応援体制をより確かなものにするため、一層の連携に努めます。

市の避難所に指定する地区集会所については、耐震指標を満たしていない施設の耐震化を促進し、災害時に安心して使用できる避難所の確保を図り、また、防災体制の見直し並びに防炎情

報伝達の充実、自主防災組織の育成支援にも努めます。

自治会活動については、自治会が主体となり「助け合い・支えあい」を再生する組織活性化へ向けた取り組みを支援します。

財政運営については、合併後10年を経過したことから、普通交付税の合併算定替特例措置の段階的縮減期に入り、地方交付税の減額が見込まれることから、さらに経常的な経費の削減を図る必要があります。実質公債費比率は平成24年度決算で18.5%となっており、平成25年度決算では18%を下回る見込みですが、公債費負担は依然と高い水準にあり、引き続き起債発行額の抑制を図り「公債費負担適正化計画」に沿った財政運営に努めます。

市税については、公平・適正な課税と徴収率の向上に努めます。また、窓口業務につきましては、高齢化社会に対応した、親切でいねいな窓口業務に努めます。



健康福祉部長
羽田野博徳

支え合い、助け合い、安心して暮らし続けられる郡上市づくり

健康福祉部は、地域福祉、障がい福祉、高齢福祉、子育て支援、健康づくり、また、国民健康保険、介護保険サービス、後期高齢者医療制度など市民生活に直結した幅広い分野を担当しています。

今年度は、4月からの消費税率の引き上げに伴い、低所得者に対する適切な配慮を行うための「臨時福祉給付金事業」子育て世帯の消費を下支えする「子育て世帯臨時特例給付金事業」を実施します。新たな子育て支援策としては、子育てに不安や孤立感を抱えている家庭や養育支援が必要な家庭に対して、家事や育児支援等を行う「養育支援訪問事業」乳幼児期の教育や保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための「子ども子育て支援事業計画」の策定に取り組みます。

高齢福祉施策としては、国において審議が進められている介護保険制度の改正に伴い、要支援者に対する通所介護や訪問介

護を新しい地域支援事業へ段階的に移行するといった動きを踏まえ、新たな高齢者在宅福祉サービスの創設も含め、地域の特性や実情に即した「高齢者福祉計画」第6期介護保険事業計画を策定します。

安心して暮らし続けられる郡上市づくりの実現に向け、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



農林水産部長
三島 哲也

地域資源を活かした新たな農林水産業振興

急激に進む人口減少と高齢化の進展により、どの分野においても担い手問題が深刻化している中、農林水産部では、地域資源を活かした新たな農林水産振興に取り組みます。

農業分野においては、国が進める新たな「農政改革」の振興を図るため、今後の農業の在り方を定める「人・農地プラン」を策定し、新規就農者の支援、耕作放棄地の発生防止解消に努めるとともに、農業6次産業化を支援し、農作物の生産向上、高付加価値化を進めます。

また、再生可能エネルギーの

活用として、農業用水を利用した小水力発電による地域農業、地域振興を支援します。そのほか、水産振興では清流の国をアピールし、各漁業協同組合を主体とした釣り人の誘致に努めるとともに「長良川あゆパーク(仮称)」の整備を推進します。

林業分野においては、豊かで美しい山づくりを進めるため、間伐などの森林整備を一層推進します。地域材の利用拡大のため、公共施設の木造化を進めるとともに、市産材を利用した住宅建設、木質バイオマスの活用として、木質ストーブや明宝温泉・湯星館の木質ボイラーの導入に対して支援をします。平成26年度末の稼働をめざす大型製材工場の整備を支援するとともに原木の安定供給体制の整備や森林・林業に係る人材育成を進めます。

畜産分野においては、家畜の病気予防、生産技術の向上、自給飼料生産の効率化によるコスト低減等を推進し、畜産物の生産性向上を図ります。また、畜産農家のみならず、地域経済・地域社会に深刻な打撃を与えることとなる「口蹄疫」「鳥インフルエンザ」などの家畜伝染病の侵入防止に努めます。



商工観光部長
山下 正則

郡上の強みを活かした地域産業の振興

国では震災後の復興や、デフレ対策・経済再生を図るため、中小企業の振興やエネルギー対策を重点的に進めています。こうした中、地場産業の経営の安定化はもとより「郡上の強みを活かした内発的産業の振興」を強力に進めることが求められています。

商工業振興については、融資や補助事業を活用した経営安定策をはじめ、創業・異業種進出支援など新たな産業おこしや、郡上の多様な資源と高い製造技術を活かした新商品開発、販路拡大を支援します。また、新たに工業団地の適地調査を行うとともに、ケーブルテレビ放送による企業紹介など雇用情報の発信に努めます。廃業や閉店の課題については、空き店舗活用を含め、事業継承対策や商店街活性化に取り組みます。

エネルギーの活用策については、商工課に「新エネルギー担当主幹」を置き、小水力発電など郡上市の自然エネルギーを活

かした電力の地産地消や、地域ぐるみでの産業創出を図ります。

観光の振興については、来春の北陸新幹線の長野・金沢駅間の開業や、東海北陸自動車道白鳥ICから飛騨清見IC間の4車線化に対応して、市内の多様な観光資源にさらに磨きをかけるとともに、他地域と連携した広域観光を進めます。また、郡上市へのお客様をお迎えする観光施設の修繕・整備を計画的に進めます。

合併・市制施行10周年記念事業として、市内外に応募を呼びかける「郡上市フォトコンテスト」を行います。また、食品サンプルを題材とした初のイベントとなる「全日本食品あーとグランプリ」を支援します。

テレビドラマ等の放映は大変宣伝効果があります。テレビ局やドラマ制作会社にロケーションの素材を提案し撮影を誘致する「フィルムコミッション事業」を進めます。外国人の観光誘客については、中部運輸局が推進する「昇竜道プロジェクト」を追い風として、台湾を中心にタイ、インドネシアなどのアジア諸国からの誘致を進めます。



商工観光部付部長
(特命担当兼道の駅統括)

水野 正文

第三セクターを活用した 地域振興をめざして

地域経済の振興により、暮らしたいまち、暮らし続けたいまちを実現するのが商工観光業務です。それらの中でも、具体的には、市内の第三セクターと道の駅の経営指導や、東海北陸自動車道の利活用促進などを担当しています。

第三セクターと道の駅の経営指導では、店舗改修計画の提案、経営改善に向けた組織見直しの助言などを行っています。これらは、ぎふ大和インターチェンジ開発負担金を償還するためにつくられた第三セクター・郡上大和総合開発株式会社との運営経験を生かしたものです。

第三セクターは市民のみなさんの税金が資本金の一部となつていきますから、地域貢献という公益性を担っています。あわせて、市内で暮らし続けたい若者たちの雇用の場にもなっています。こうした役割をさらに果たすには、安定経営と発展が不可欠です。そのために、第三セクターの経営改善を進めていま

す。この次のステップとしては、市内の第三セクター同士が人材、ノウハウ、情報等を共有し協力し合うことで、経済の手法を取り入れながら地域の課題を解決する仕組みを作りたいと考えています。



建設部長
武藤 五郎

地域の安全・安心に備えた 基盤整備

今年4月から、県と市の建設分野における連携協力に関する協定を結び、岐阜県郡上総合庁舎2階に市の建設部事務所を置くことになりました。

市民のみなさんからの建設部門への問い合わせ等の窓口を一元化することによる、市民サービスの向上と災害時の危機管理体制の強化に努めてまいります。

今年度の事業につきましては、継続事業の整備促進を図り、新規事業についても優先度等を検討する中で有利な補助事業や起債制度を活用し着実に事業を推進します。

東海北陸自動車道白鳥ICから飛騨清美IC間の4車線化につきましましては、平成30年度を完成目標に進めていただいております。

り、国道・県道についても、事業の整備促進及び要望活動を関係機関に対し行います。

今後、予想される大規模地震に対応するための耐震診断、耐震補強工事についても引き続き実施していきます。

沿道林修景事業につきましては、昨年度より自治会実施での施工も可能となりましたので積極的に利用をしていただきたいと思います。

市民のみなさんが、安全で安心して暮らせる基盤整備に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



環境水道部長
平澤 克典

快適で安心な循環型社会を めざして

市民のみなさんのライフラインである上下水道とゴミの適正処理等を通じて、公衆衛生と生活環境の向上を図りつつ、循環型社会の形成をめざして各種事業を推進します。

環境事業では、市民のみなさんに4R運動を通してゴミの減量・分別にご協力いただき感謝申し上げます。生ゴミにつきましましては、生ごみ処理機等による

堆肥化の推進、また、水切りを徹底していただくことにより、市民のみなさんと一体となって可燃ゴミの減量に取り組みます。

上水道事業は昨年度に引き続き、高鷲北部、南部、大和中央、また、本年度より八幡南部（高畑・那比・相生・千虎・下吉野）の統合事業を推進し、安全で安心な飲料水をご家庭へ安定供給できるように努めます。

下水道事業は、本年度より郡上市統一料金となりました。このことから水道以外の水（井戸・山水）を計量する加算メーターの確認と、さらなる加入を促進してまいります。



教育次長
細川 竜弥

郡上の「資源」を守り、 活かす社会教育

教育委員会では、多種多様な分野を所管していますが、今回は社会教育分野について紹介いたします。

社会教育の重要な位置を占める公民館活動については、平成24年度から各地域に配置した公民館専任主事を中心として、公民館体制の定着や公民館講座など活動の充実を図ってきまし

た。平成21年度に川合地区公民館（八幡地域）、平成23年度に相生地区公民館（同）、平成25年度に口明方地区公民館（同）が優良公民館として国の表彰を受けるなどその成果が徐々に出てきており、今後も更なる充実をめざして取り組みます。

郡上學閥連では、ふるさと郡上についての理解と認識を深めるため、郡上學閥合講座並びに郡上かるたの普及啓発と活用を図るため、第3回郡上かるた大会を開催します。

郡上市には、他市に比べて個性的な伝統芸能が数多く残っています。これを活用して、各地に伝わる伝統芸能の普及や後継者育成を図るため、平成24年度に続いて、第2回「青少年郷土芸能フェスティバル」を開催します。

文化財保護については、古文書や歴史資料等を適正かつ統一的に保管する施設がないことから、こうした機能を備えた施設や設備についての研究調査を実施します。





市長 尾藤 康春
市市民病院事務局

地域で信頼される病院を
めざして

郡上市市民病院は、平成25年度延べ入院患者5万2千人、外来患者9万6千人の人が治療を受けられました。また、市内唯一の産科施設として年間327件の分娩を扱っています。さらに、二次救急病院として24時間365日救急業務も行っていきます。

このような状況の中、当院では、中山間地域であつても決して都市部に引けを取らないように医療環境の充実を図るため、最新のMRIを初めとした様々な医療機器を順次更新しています。更にカルテを初めとした医事システムの電子化を今年1月より導入し、地域の中核病院として市民のみなさんに安心・安全を提供してまいります。

が安心して暮らせるよう「信頼され心が癒される病院」をめざして職員一丸となつて努力してまいります。



局長 藤代 求
国保白鳥病院事務局

市民が安心して暮らせ、
心の支えになる病院

国保白鳥病院の役割は、へき地医療や救急医療など市民が安心して暮らすことのできる地域医療を安定して提供することにも、疾病予防や介護予防等を通じて地域住民の健康の保持増進を図ることにあります。

当院では、昭和26年の開設以来「市民が安心して暮らせ、心の支えになる病院」を基本理念に、内科、外科、整形外科、小児科などの医療のほか、訪問看護や在宅介護支援、訪問介護、通所リハビリ、健診等の健康サポート事業などを一体的に展開してきました。

れるよう、医療サービスの高度化・迅速化・効率化に取り組みしてまいります。

今年度は、将来に向けた体制づくりの一環として電子カルテシステムの導入に取り組みのほか、地域に開かれた公立病院をめざし、市民のみなさんと膝を交えた座談会を計画しています。



長 後藤 忠雄
地域医療センター

支えます！あなたと地域の
QOL(生活の質)を

郡上市地域医療センターは、主に市内のいわゆるへき地地域をフィールドとして保健医療福祉を支えることがその主たる活動です。医療の重要な役割は病気を治すことですが、病気になる前も後も住み慣れた地域で生活が継続できるように、病気を治すことだけではなく保健医療福祉に幅広く対応することによつて、みなさんの生活そのものを支えること、それが当センターの目的と位置づけています。

そのために、今年度も例年同様、市民のみなさんと膝を交えた話し合いなどの情報の発信と収集、そしてその共有に取り

組みます。市内の保健医療福祉に関する様々なネットワークづくりにも積極的に参加していきます。スタッフが質の高いサービスを提供でき、市民のみなさんの生活を支援できるよう職場環境を整えスタッフ一人ひとりの能力向上に努めます。

ぜひ、健康や福祉に関するどんなことでもご相談ください。全てを解決することは難しいと思いますが、みなさんとともに悩み考え、誠実に対応するようスタッフ一同心がけます。

こうした基本的スタンスからぶれないよう今年度も取り組んでいきたいと思つています。ぜひ市民のみなさんからのご支援ご協力もよろしくお願いいたします。



消防本部長 川島 和美

消防業務「更進」のための
「具現化」

郡上市消防本部では、消防人としての資質の向上と消防業務の充実を目的に、毎年度目標とするキーワードを掲げ、それに向けて取り組んでいます。今年度は「更進のための具現化」としています。

「更進」は、現在の状態から更に前進するという意味で、辞書にはない造語で「更」には、もつと・さらに・そのうえ・一層の意味を持たせ「進」には、進化・進歩・前進・向上の意味を持たせました。

今の自分が置かれた状況に満足することなく、各消防業務について「今のままで良い」ではなく、発想の転換を図り、問題意識を持ち課題を見つけ出し、創造力をもって検討し探究し研鑽すること。

「具現化」は、目標や理想などを具体的に実現すること、実際に具体的な形に現すことを意味しますが、消防の使命を自覚し強い意欲と熱意をもって「更進」するための「具現化」に向けて努力することです。

我々消防人は、地域の安全・安心のために邁進してまいります。

